

令和元年度 家族川柳 入選作品

小学生の部



手をたたく回数減ってさみしいな
母
つなきたいでもはすかしいたまになら
小学3年 女

おつかれさま体やすめておはあちゃん
小学5年 男

ひとことが心やさしき隠れ泣く
祖母

いってきます笑顔の君にハイタッチ
父

ハイタッチお父さんの手大きいな
小学3年 女

おかあさんたまにはいつしよにねてほしい
小学3年 男

家事の手をたまには休めて喋らうかな
母

たからものそれはかぞくのえがおだよ
小学5年 女

大好きだよ
○○の笑顔が宝物
母

キッチンでりょうりのしつもんうれしいな
母

ありがとうおしえてほしいははのあし
小学3年 女

弟が大喜きすぎてぎゅうしたい
小学3年 女

寂しいなパパのどにきぎゅうきてね
父

荷物持ち買い物行きたび役に立つ
母

重い物持つのが仕事まかせてや
小学6年 男

見ていてね絶対勝つよ次の試合!!
小学5年 女

汗だくで頑張る姿かがやいてる
母

中学生の部



少だけ大人の階段のぼったよ
小学5年 女

大丈夫つまずいたって支えるよ
母

反抗期イライラぶつけて反省中
中学2年 男

反抗期戦つてやるよかかってこい
母

夏休みあそびすぎてボケーション
中学1年 女

あそびすぎ!母はおにへと化ケーション
母

夏休み最後にあせもの親似かも
母

やっぱりね親の遺伝じゃしょうがない
小学1年 男

十二歳でもまだみんなに甘えたい
小学1年 女

いいですよいくつになっても甘えてね
母

お母さんいつもお仕事ごころうさま
小学4年 女

あなたとの時間も大事板ばさみ
母

歌い手のあの曲いいねパパも好き
父

あの曲で家族のきよりもちぢまった
小学6年 女

夏休み母眠るそばに日よしかな
小学6年 女

屋敷して子どもに見つかり情けなや
母

高校生の部



亡き祖父の自室があなたの勉強部屋
母

生き様を部屋の壁から感じます
中学2年 男

毎日の相談相手ありがとう
中学2年 女

話してねあなたの心のよりどころ
母

反抗期迷わくかけてごめんさい
小学3年 女

わがまこの成長きたいしがまんする
祖母

洗濯が少なくなったね俺の分
小学3年 男

次は受験でももつできない試合の応援
母

おばあちゃんしんせんやさいありがとう
小学4年 男

やさしいより孫の成長楽しみだ
祖母

おかあさんいつもおごらせすいません
小学4年 女

わかるでしょおこるふんだけ期待あり
母

ばあちゃんのご飯でいつも笑顔なる
小学6年 男

願いこめ嫌いなものもちよつと添え
祖母

ただいま!聞こえた時の安堵感
母

おかえりと聞こえた時の安心感
高校1年 男

どつですか疲れたあとの肩もみは
高校1年 女

ありがとう心の疲れもほくれるよ
母

お手伝いやるやる詐欺のドラマスコ
母

そんなこと言った覚えはありません
高校1年 男

秋になりあなたのお米待ってます
高校3年 男

稲のようにそだつ姿うれしいよ
祖父

軽々と米持ち運びありがたや
母

あんなもん筋トレ代わりありがたや
高校2年 男

そのえがおどこから出すの
おしえてよ
小学4年 女

知らないのあなたをみてると出ちやうのよ
母

わすれもの子より私がおおくなる
母

だいじょうぶ!こんどはほぐがおしえるよ
小学4年 男

ユーチューブ一緒に見て知る子の世界
母

ネットショッピング一緒に見て知る母の世界
小学6年 女

怒っても見えぬ絆に手を合わせる
高校1年 男

わかっていても言わずにおれぬ親心
母

炎天下孫の健康祈る祖母
祖母

孫思つ孫より自身の心配を
高校1年 男

ごころうさん母より長いバイト時間
母

働いて分かった父母の大変さ
高校3年 男

衝撃だ母作をよりうまいディナー
母

すこいやろスマホ見ながら作るから
高校2年 女

調理中ヨガし始めるのやめてくれ
高校3年 男

食事中携帯触るのやめてよね
母



令和元年度 家族川柳 準入選作品

小学生の部

- ・わたし見て いろいろばかり かまいすぎ 小学3年女 → おねえちゃん あなたもあつたよ こんな時期 母
- ・家族とは いっしょにいるのが 大切だ 小学3年女 → そうだよね 入院した時 わかったよ 母
- ・やくそくよ テレビ・ゲームは 1時間 母 → そうだよね みんなではなす 1時間 小学3年女
- ・おさけはね からだにわるい きをつけて 小学3年男 → うれしいな まごがしんぱい ありがとう 祖父
- ・帰ったら ごはんがたけてる! たすかるよ 母 → 家族を ささえてこそが お手つだい 小学3年男
- ・兄ちゃんが 何でも出来て うらやましい 小学3年女 → 出来る事 あなたもたくさん あるじゃない 母
- ・父よりも スマホに会いに 部屋に来る 小学3年男 → いつまでも 父をおもって へやにくる 父
- ・つきあうよ 空手のパンチ 痛いけど・・・ 父 → 父ちゃんの 言葉がいつも エネルギー 小学4年男
- ・ばあちゃんの 手作り りょう理 最高だ 小学4年女 → ありがとう ママに伝える この味を 祖母
- ・ドアを開け 今日の始まり 「いってきます。」 小学4年女 → 大声で 「いってらっしゃい」 不安とる 母
- ・また行こう 夏のキャンプは 最高ね 小学4年女 → 子の成長 キャンプで感じる たくましさ 父
- ・手をつなぐ 回数減って 寂しいな 母 → 四年生 そういふ としごろ がまんして 小学4年女
- ・少しでも はやく大人に になりたいな 小学4年男 → 少しでも 今のあなたを 見ていたい 母
- ・四年生 ねむれるでしょう 一人でも 母 → もう少し 父母にはさまれ ねむりたい 小学4年男
- ・目の前に ひろがる花火 きれいだね 小学5年男 → 来年も 一緒に見ようね この場所で 母
- ・父さんを 早く超えたい 強い球 小学5年男 → 手のひらで 直に感じる 子の成長 父
- ・ハイタッチ 今日でも元気に いってきます 小学5年男 → 音ひびく わが家の朝の ルーティーン 母
- ・失敗した 大きな大会 くやしいな 小学5年男 → 何度でも 挑戦しよう 恐れずに 母
- ・まちがいを しかってくれて ありがとう 小学5年女 → ごめんより 心に響く ありがとう 母
- ・かんれきを みんなで祝う 元気でと 小学5年女 → 六十才 まだまだ元氣 働けど!! 祖母
- ・「いってらっしゃい」 その一言で がんばれる 小学5年女 → ただいま~ その一言で 安心する 父
- ・ボケたかな ダジャレを言って ボケ防止 小学6年男 → 最近は ダジャレで笑うの 孫だけだ 祖父
- ・ほっとする 帰ってきたね かぎの音 小学6年女 → 待たせたね 今すぐゴハン 作るから! 母
- ・お父さん 宿題中に ねないでよ 小学6年男 → 何を言う 時間かけ過ぎ 誰のせい? 父
- ・入院で 心配かけて ごめんなさい 小学6年男 → 「ただいま」で 家族に笑顔の 花が咲く 母
- ・自分に勝た うれしなみだで 日本一 母 → 見ていてね 圧倒的な この力 小学6年男
- ・家族って 一番安心 できる場所 小学6年女 → そりゃそうよ みんな あなたが 好きだもの 母
- ・もう少し 中学までには 追いつくよ 小学6年男 → 背比べ 今だけできる 楽しみだ 母

中学生の部

- ・父の背に あと8センチ 追いつくぞ 中学1年男 → 待ってるよ 中身もでっかい 人になれ 父
- ・怒るのは ○○のためだよ でも、ゴメン 父 → わかってる なのに なんか はらがたつ 中学1年男
- ・ばあちゃん 思い出話は 聞きあきた 中学1年女 → 孫ちゃん まだまだ話すよ ボケ防止 祖母
- ・ありふれた 言葉だけれど ありがとう 中学1年女 → 何事も 感謝の気持ち 忘れずに 父
- ・いつ出るの あなたの 本気と 集中力 母 → いまかもね やればできるさ ぼくだって 中学1年男
- ・母の背に おいこす日まで もう少し 中学2年女 → 身長は 同じになったが 他はまだ 母
- ・墓ながめ 曾祖母思う 盆休み 中学2年女 → 盆休み 初孫の やさしさや 父
- ・やっときた 母の身長 こえる時 中学2年男 → 次はぜひ 心の成長 よろしくね。 母
- ・太陽の 光はやる気の 源だ 中学2年男 → 太陽に 向かって 咲く 君にエール 母
- ・十四歳 あなたの心は 乱気流 母 → 三十代 あなたの心は 台風ね 中学2年女
- ・墓参り 家族時間差 さびしいな 中学3年男 → 来年は みんなで笑顔 届けよう 母
- ・分からない ワードが増える 姉妹の会話 母 → お母さん 一緒に見ようよ You Tube 中学3年女
- ・背伸びた? 柱に刻む 成長記 中学3年男 → 増えていく 柱のキズは たからもの 父
- ・なまけもの やるきにさせる まほう使い 中学3年女 → なまけもの もぐもぐタイム 効果あり 母
- ・「宿題は」 その声まさに せみレベル 中学3年男 → 「わかつとる」 動かぬすがた 大仏レベル 母

高校生の部

- ・おいしいね 笑顔で言われ いやされる 母 → 元氣出る 愛情つまった お弁当 高校1年女
- ・話しよ たまにはスマホ 置いてきて 母 → そうだよね これからスマホ おいてくる 高校1年男
- ・反抗期 素直になれぬ 我憎し 高校1年男 → 反抗も 一緒にいてこそ 今のうち 母
- ・いつ来るの? 予定教えて 反抗期 父 → 携帯に 夢中の今が 反抗期 高校1年女
- ・いつまでも スマホの明かり 今宵かな 母 → 分かっている 分かっているが 止められない 高校1年女
- ・伝えたい 照れくさいけど ありがとう 高校2年女 → 日常でもっと聞きたい その気持ち 母
- ・ほかほかの おいしいごはん 元気でる 高校2年女 → 愛娘の 笑顔見たさに 腕振るう 母
- ・歳重ね 徐々に感じる 母の苦勞 高校3年男 → 子の将来 楽しみに待つ 親心 母
- ・もう少し 就職したら 恩返し 高校3年男 → その言葉 聞いただけでも 恩返し 母
- ・お手伝いを 毎日してくれて ありがとう 母 → 助かるわ その言葉がね 嬉しいな 高校4年女

羽咋市教育委員会と羽咋市家庭教育推進協議会、羽咋市少年育成センターでは、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、「家族川柳」と題し、「子の句（初句）」とそれに返事を返す「親の句（返句）」を一組とする川柳を募集しました。川柳は、5・7・5の17文字の短い言葉で表現します。俳句と違い、季節などを入れる制約もありません。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり、家族のふれあいを深める目的で実施しました。

これは、たくさんの応募作品の中から入選作品・準入選作品をまとめたものです。どれもユーモアのある心温まる作品ばかりです。ぜひ一読ください。

【応募人数】小学生 571人、中学生 426人、高校生 483人（計）1,480人

【入選人数】各学年 5人（高校生については、2~3年生の合同）（計）45人

【準入選人数】各学年 5~7人（高校生については、2~4年生の合同）（計）53人

発行：羽咋市教育委員会
羽咋市家庭教育推進協議会
羽咋市少年育成センター